

JETRO

2022年12月

モンゴル経済概況

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部

2022年12月



目次

I. 最近の動向

1. モンゴルの基礎データ①
2. モンゴルの基礎データ②
2022年1～9月期の主要経済指標
3. 新型コロナウイルスの感染状況
4. 最近の政治経済動向①
5. 最近の政治経済動向②
6. GDP・実質成長率の推移

II. 生産

1. 名目鉱工業生産の推移
2. 貨物輸送量

III. 貿易・投資

1. 貿易の推移
2. 主要輸出入品目
3. 主要輸出相手国および輸出額
4. 主要輸入相手国および輸入額
5. 日本との貿易概況

6. 日モEPAの実績①

7. 日モEPAの実績②

8. 主要国・地域別直接投資額

9. 主要国・地域別投資企業数

10. 主要業種別投資企業数

11. 日本からの直接投資①

12. 日本からの直接投資②

最近の日本企業の進出事例

IV. 物価・為替レート

1. 物価（インフレ率）
2. 対ドル・対円の為替レート

V. 財政・金融

1. 歳入・歳出の推移
2. 貸出残高
3. 貸出金利
4. M2の推移
5. 外貨準備高

1 | モンゴルの基礎データ①

国名	モンゴル国
面積	156万4,100平方キロメートル
人口	340万9,939人(2021年末現在)
首都	ウランバートル
民族	モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等
言語	モンゴル語（公用語）、カザフ語
宗教	チベット仏教等（1992年2月施行の新憲法は信教の自由を保障）
政体	共和制（大統領制と議院内閣制の併用） 行政区分：21県と1特別行政区
通貨	トゥグルク（100トゥグルク=約3.94円） ※2022年12月4日現在

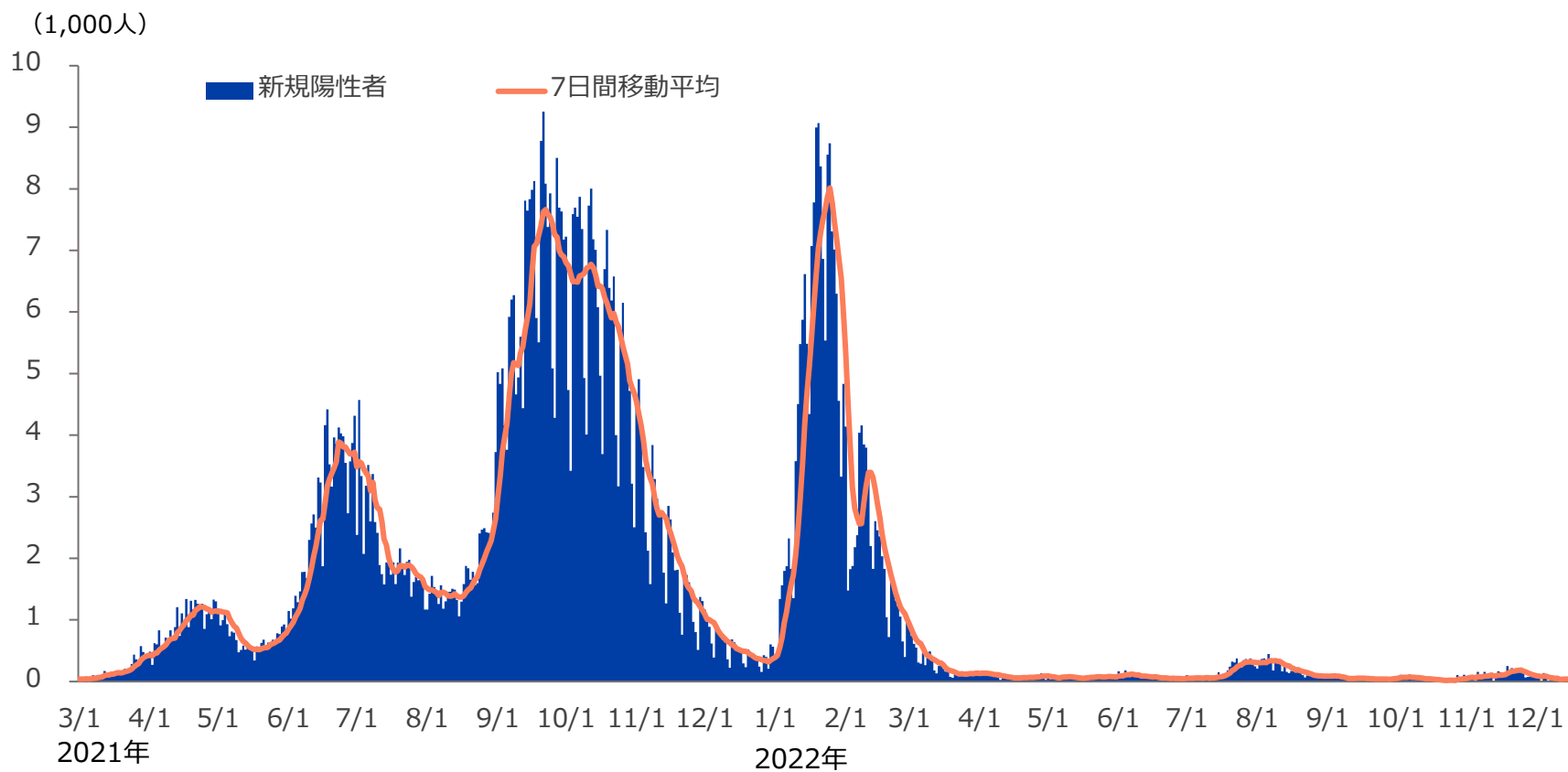
2 | モンゴルの基礎データ② 2022年1～9月期の主要経済指標

- 2022年1～9月期のモンゴル経済は、中国国内の新型コロナウイルス感染拡大防止策により、中国向け資源輸出が前年同期比3割減少したが、輸出全体では石炭および金の輸出がけん引し約3割増となった。実質GDP成長率は3.7%だった。

指標	単位	金額	前年同期比 (%)
実質GDP	%	-	3.7
名目GDP	兆トゥグルク	35.2	17.7
貿易総額	億ドル	152.8	32.5
輸出額	億ドル	89.2	39.4
輸入額	億ドル	63.6	24.0
鉱工業生産額	兆トゥグルク	14.8	8.2
インフレ率 (9月、前年同月比)	-	-	13.8
対ドルレート (9月平均)	トゥグルク	3,257	14.3
対円レート (9月平均)	トゥグルク	22.8	△12.0
財政収支	億トゥグルク	△9,621	-
貸出残高 (9月末)	兆トゥグルク	23.0	13.8
M2 (9月末、前年同月末比)	兆トゥグルク	27.5	1.7
外貨準備高 (9月末、前年同月末比)	億ドル	27.9	△33.2

3 | 新型コロナウイルスの感染状況

- モンゴル保健省の外郭団体「健康開発センター」によると、2022年12月16日時点のモンゴルにおける新型コロナウイルスの累計感染者数は96万7,293人である。



(出所) モンゴル健康開発センター

4 | 最近の政治経済動向①

■ 2022年3度目の利上げ実施も通貨安が進行。

- モンゴル銀行（BOM、中央銀行）が発表した公定為替レート（10月31日）の終値は、1ドル=3,390.99トゥグルクとなり、前年同期比16.0%、前月比1.4%のトゥグルク安となった。
- BOMの国際収支統計によると、モンゴルの国際収支は2022年4月にわずかに黒字になったことを除けば、2022年は赤字が続いている。また、経常収支は2021年12月以降の赤字が続いている。通貨安は、これら国際収支ならびに経常収支の赤字も一因となっている。
- 2022年に入って以降、BOMは3月（[ビジネス短信2022年4月19日記事参照](#)）、6月（[ビジネス短信2022年6月28日記事参照](#)）、9月（[ビジネス短信2022年10月14日記事参照](#)）と3回の利上げを実施しているほか、6月2日から10月27日までに、18億ドル以上の外貨を供給（為替介入）しているが、通貨安は続いている。

5 | 最近の政治経済動向②

- 11月11日に2023年度予算法および関連法が国会で成立した。

- 2023年度連結予算の主要経済指標

- 均衡歳入（注1）：19兆496億トウグルク
- 総歳出：20兆4,753億トウグルク
- 均衡収支（注2）：1兆4,257億トウグルクの赤字
- 均衡収支（赤字）の対名目GDP比：2.6%
- 政府債務総額：35兆4,345億トウグルク
- 政府債務総額の対名目GDP比：65.0%
- 予想実質GDP成長率：5.0%
- 予想インフレ率：8.0%

- また、2024-2025年予算見通しでは
2024年の実質GDP成長率を5.1%、インフレ率を6.0%
2025年の実質GDP成長率を6.1%、インフレ率を6.0%
と予想している。

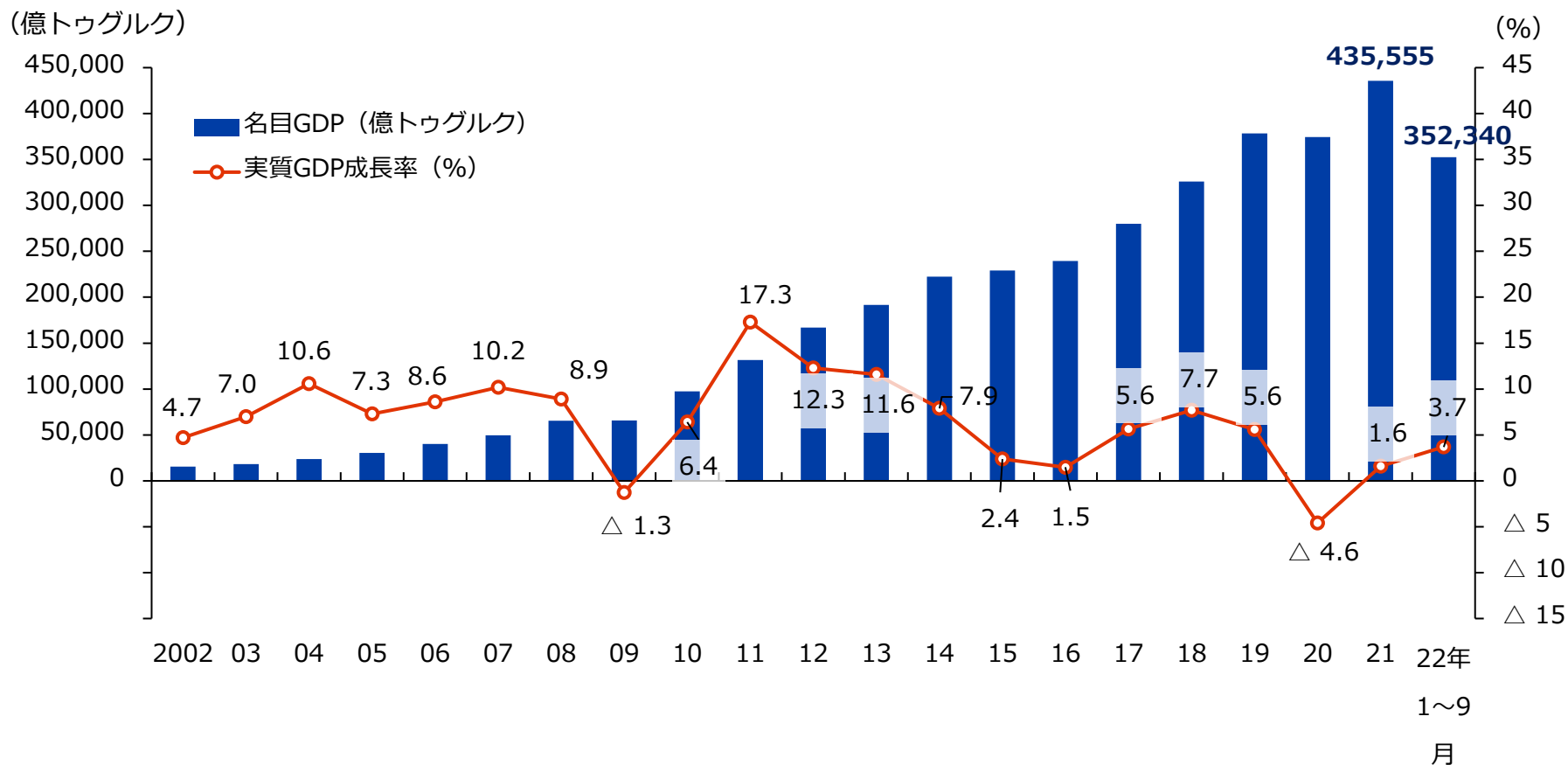
（注1）「連結予算の均衡歳入」とは、主要な鉱物資源からの均衡収入と連結予算の基本歳入の合計額から当該予算年度の未来遺産基金への積み立て分を差し引いた額を言う。（財政安定化法4.1.5）（<https://legalinfo.mn/mn/detail/503>）

（注2）「連結予算の均衡収支」とは、連結予算の均衡歳入と連結予算の総歳出の差額を言う。（財政安定化法4.1.6）（同上）

（出所）2023年度連結国家予算枠通知・2024-2025年予算見通し（<https://legalinfo.mn/mn/detail?lawId=16530615696721>）

6 | GDP・実質成長率の推移

- 2022年1～9月の実質GDP成長率は前年同期比プラス3.7%だった。季節調整済みの前期比成長率は1.0%だった。
- 2022年1～9月の名目GDPは前年同期比17.7%増の35兆2,340億トウグルクだった。



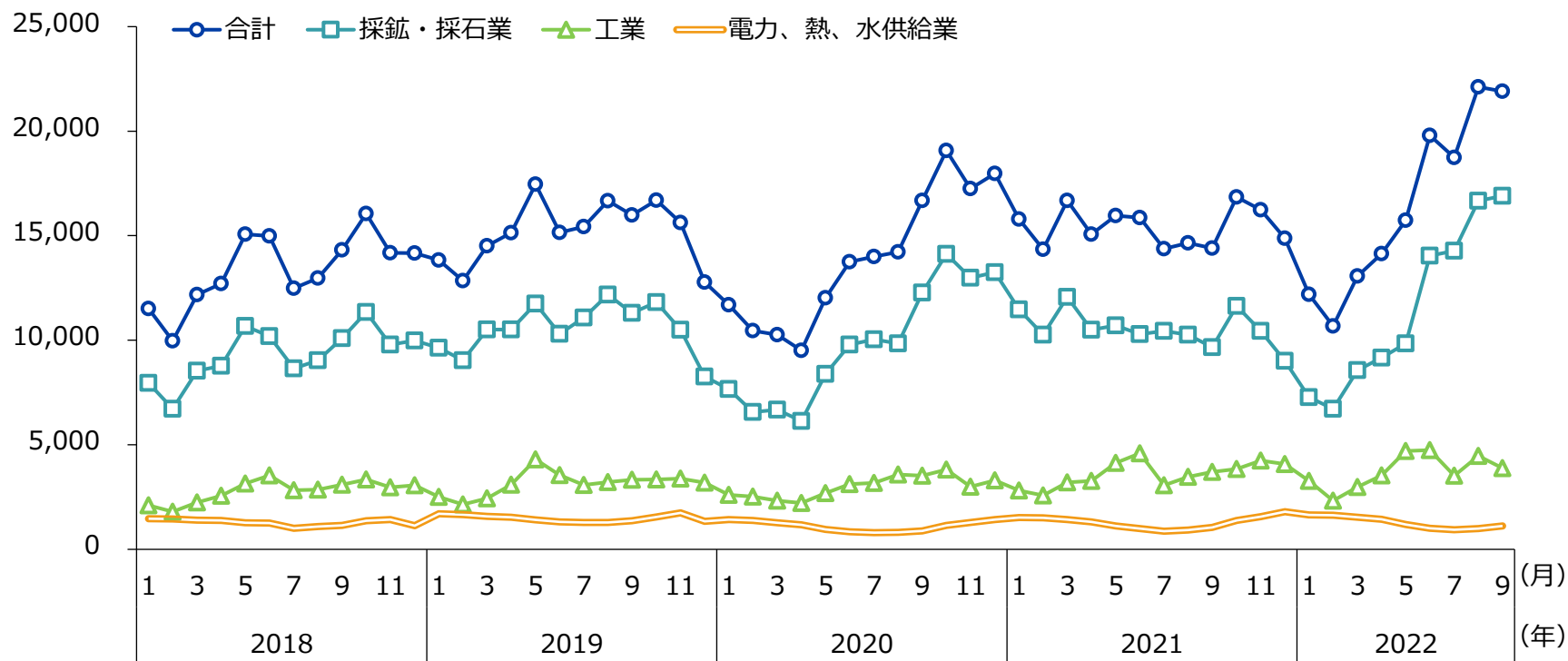
(注) 2020年は暫定値,2021年,2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

1 | 名目鉱工業生産の推移

- 2022年1～9月における鉱工業生産額は、前年同期比8.2%増の14兆8,356億トウグルクとなった。過去最高だった8月単月の2兆2,117億トウグルクから9月は2兆1,908億トウグルクとやや低下した。
- 2022年3月以降、採鉱・採石業が回復した。

(億トウグルク)

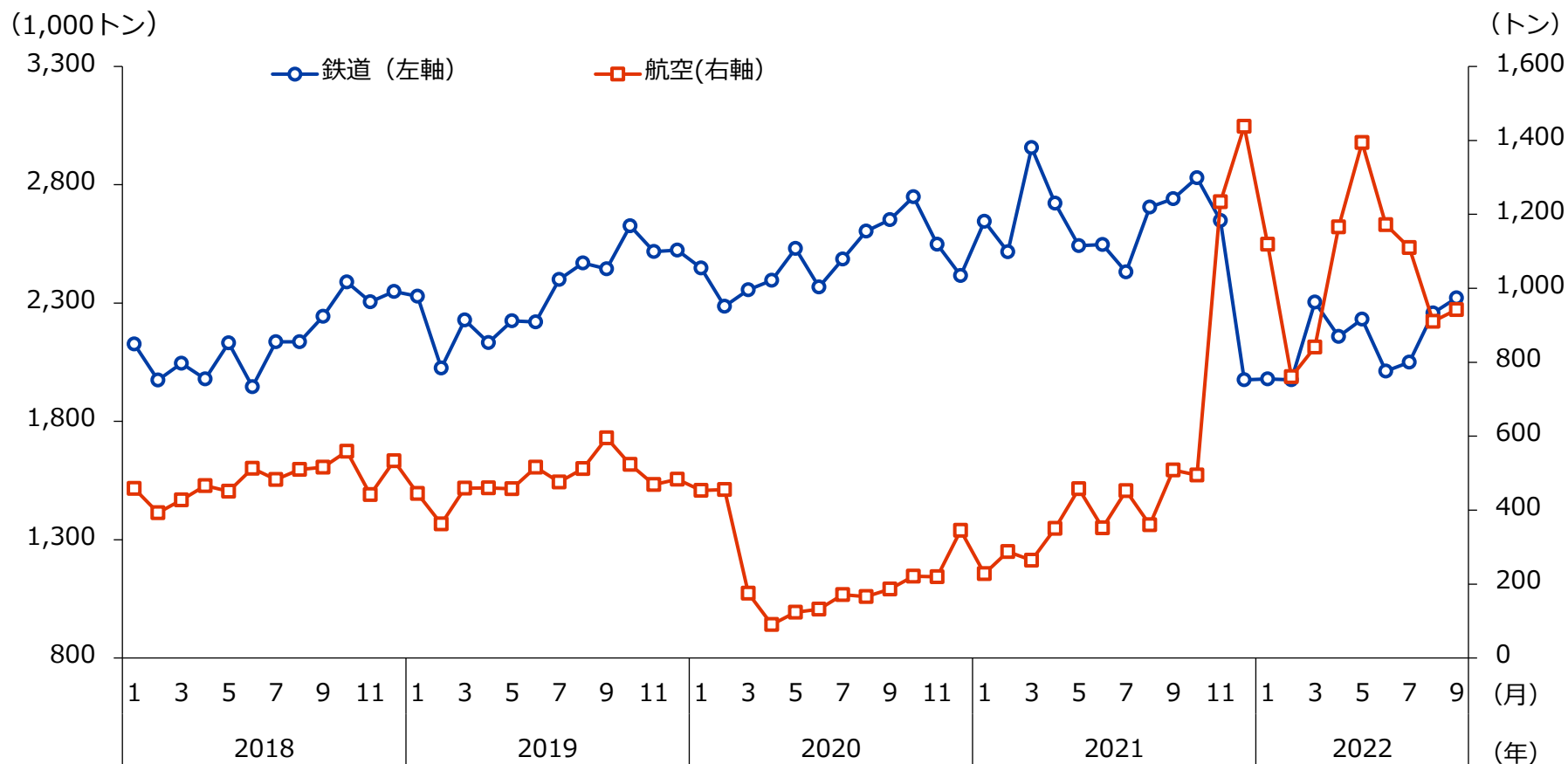


(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

2 | 貨物輸送量

- 2022年1～9月における鉄道貨物輸送量は、前年同期比19.0%減の1,929万トン、航空貨物輸送量は、2.9倍の9,415トンだった。

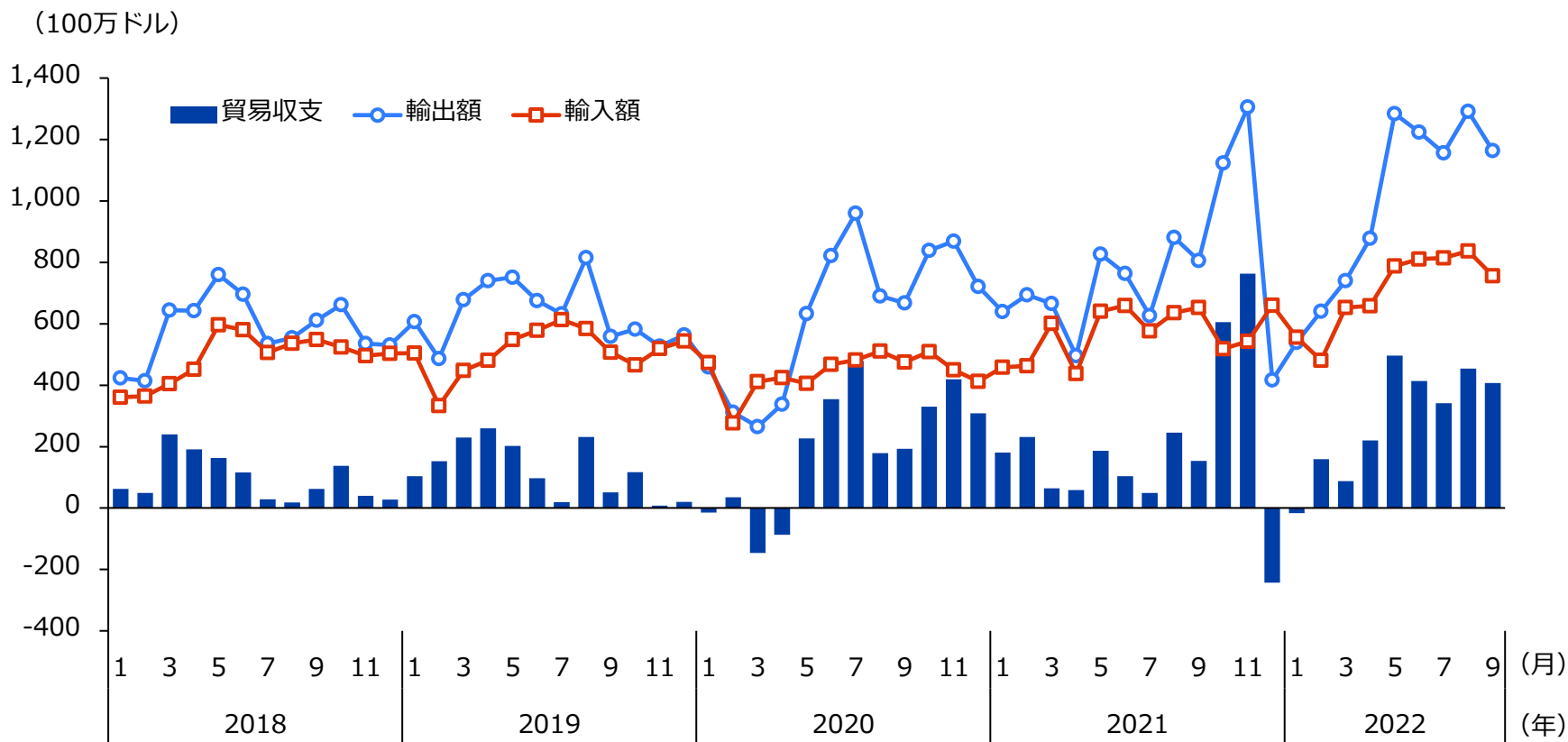


(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

1 | 貿易の推移

- 2022年1～9月における貿易総額は、前年同期比32.5%増の152億7,611万ドルとなった。うち、輸出額は39.4%増の89億1,963万ドル、輸入額は24.0%増の63億5,648万ドルとなった。
- 貿易収支は25億6,315万ドルの黒字だった。



(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

2 | 主要輸出入品目

- 主要輸出品目である鉱物のうち、2022年1～9月の石炭が前年同期比3倍、銅精鉱が5.7%減となった。石炭の輸出額の急増は、石炭価格が上昇したためである。
- 主要輸入品目では、鉱物製品が59.0%増となった。

(単位：100万ドル)

品目	2020年	2021年	2022年1-9月	前年同期比 (%)
輸出	7,576.3	9,247.1	8,919.6	39.3
鉱物	5,256.0	7,516.0	7,603.7	41.2
石炭	2,126.6	2,779.5	4,507.1	3倍
銅精鉱	1,778.0	2,899.9	2,175.2	△ 5.7
卑金属およびその製品	66.6	97.5	65.9	△ 13.4
皮革および毛皮並びにこれらの製品	7.4	6.5	2.8	△ 50.9
生地およびその製品	279.5	370.7	400.1	55.1
石、人造石、貴金属および宝石	1,789.9	1,025.4	754.0	62.2
輸入	5,298.9	6,848.6	6,356.4	24.0
食料品	434.4	607.2	584.9	35.5
鉱物	1,007.2	1,338.6	1,404.9	59.0
ガソリン	244.7	391.1	404.1	79.3
ディーゼル	432.4	590.1	671.1	65.3
卑金属およびその製品	535.7	567.2	626.3	34.3
自動車およびその部品	849.8	1,228.4	1,165.2	16.5
機械器具、電気製品	1,060.6	1,248.7	960.0	1.0

(注) 2022年1～9月は速報値。

(出所) 国家統計局

3 | 主要輸出相手国および輸出額

- 2022年1～9月における主要輸出相手国のうち、輸出額1位の中国は前年同期比33.4%増、構成比は84.5%（3.7ポイント低下）となった。

国名	2020年		2021年		2022年1～9月		
	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	伸び率 (%)	構成比 (%)
合計	7,576,311	100.0	9,247,110	100.0	8,919,630	39.3	100.0
中国	5,489,993	72.5	7,638,476	82.6	7,536,200	33.4	84.5
スイス	1,681,589	22.2	869,738	9.4	699,513	1.9倍	7.8
シンガポール	151,251	2.0	254,728	2.8	321,598	4.2倍	3.6
韓国	21,421	0.3	223,370	2.4	158,509	17.0	1.8
イタリア	19,403	0.3	35,560	0.4	56,294	2.5倍	0.6
ロシア	57,275	0.8	112,784	1.2	54,824	△ 33.7	0.6
ドイツ	11,589	0.2	12,191	0.1	20,998	3.8倍	0.2
日本	9,629	0.1	17,739	0.2	10,099	△ 15.4	0.1
英国	84,071	1.1	10,137	0.1	9,563	45.8	0.1
香港	3,156	0.0	5,145	0.1	9,185	2.8倍	0.1
その他	46,934	0.6	67,242	0.7	42,847	△ 17.4	0.5

(注) 2022年1～9月は速報値。

(出所) モンゴル税関庁

4 | 主要輸入相手国および輸入額

- 2022年1～9月における輸入総額は前年同期比24.0%増となった。主要輸入相手10カ国のうち、第1位のロシアと第2位の中国で約3分の2を占める。日本は第3位で8.3%を占めている。

国名	2020年		2021年		2022年1～9月		
	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	構成比 (%)	金額 (1,000ドル)	伸び率 (%)	構成比 (%)
合計	5,298,913	100.0	6,848,642	100.0	6,356,426	24.0	100.0
中国	1,892,788	35.7	2,490,566	36.4	2,206,961	7.9	34.7
ロシア	1,399,962	26.4	1,960,582	28.6	1,900,660	41.0	29.9
日本	406,713	7.7	453,120	6.6	529,850	60.9	8.3
韓国	235,769	4.4	308,747	4.5	323,676	47.9	5.1
米国	245,357	4.6	213,168	3.1	195,513	23.7	3.1
ドイツ	184,774	3.5	223,231	3.3	133,428	△ 23.5	2.1
トルコ	37,322	0.7	71,204	1.0	85,474	2倍	1.3
インド	34,608	0.7	63,618	0.9	76,545	69.4	1.2
ポーランド	56,646	1.1	83,357	1.2	70,726	19.2	1.1
ベトナム	56,052	1.1	79,717	1.2	62,091	16.5	1.0
その他	748,922	14.1	901,334	13.2	771,503	18.3	12.1

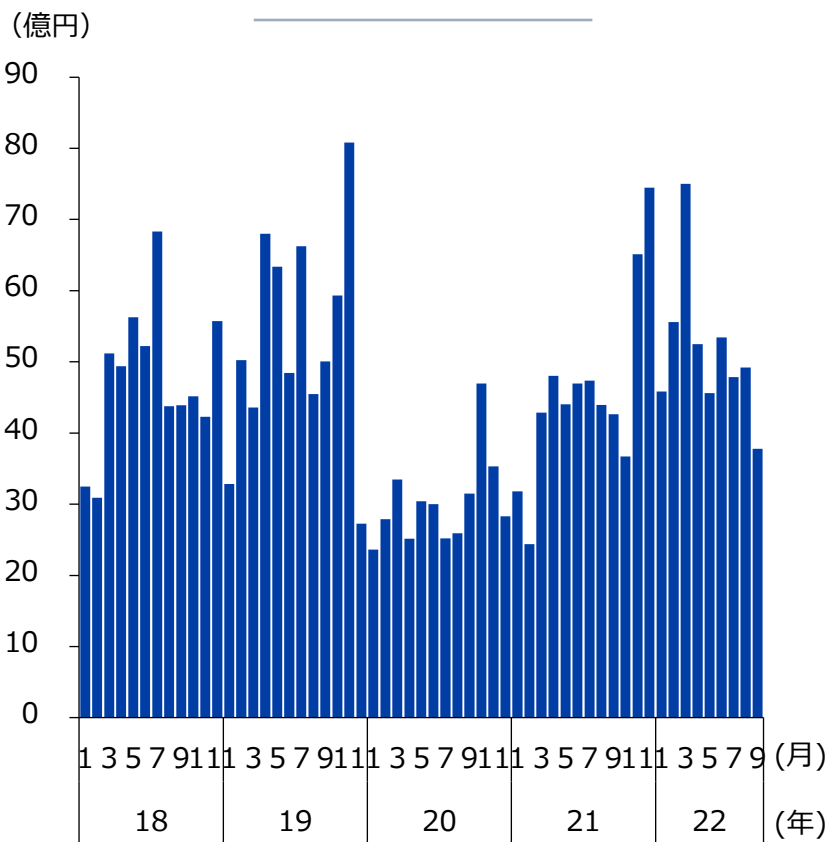
(注) 2022年1～9月は速報値。

(出所) モンゴル税関庁

5 | 日本との貿易概況

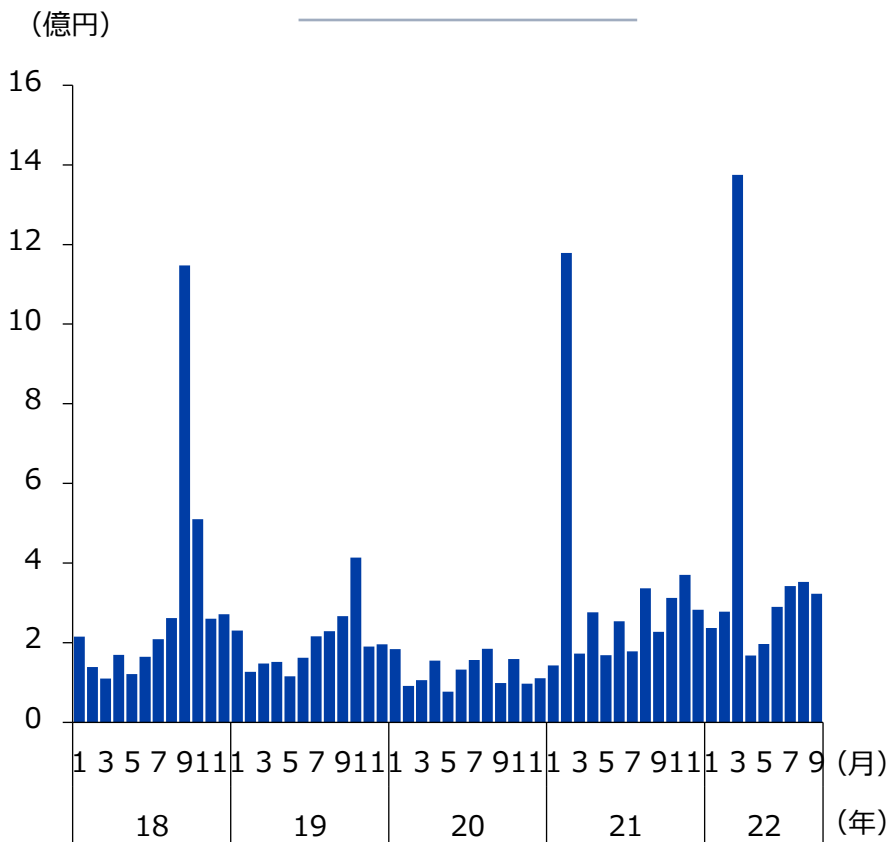
- 貿易額について日本側の統計をみると、2022年1～9月における日本の対モンゴル輸出は前年同期比24.4%増の463億円、日本の対モンゴル輸入は21.4%増の36億円となった。

日本の対モンゴル輸出



(出所) 財務省貿易統計 (日本)

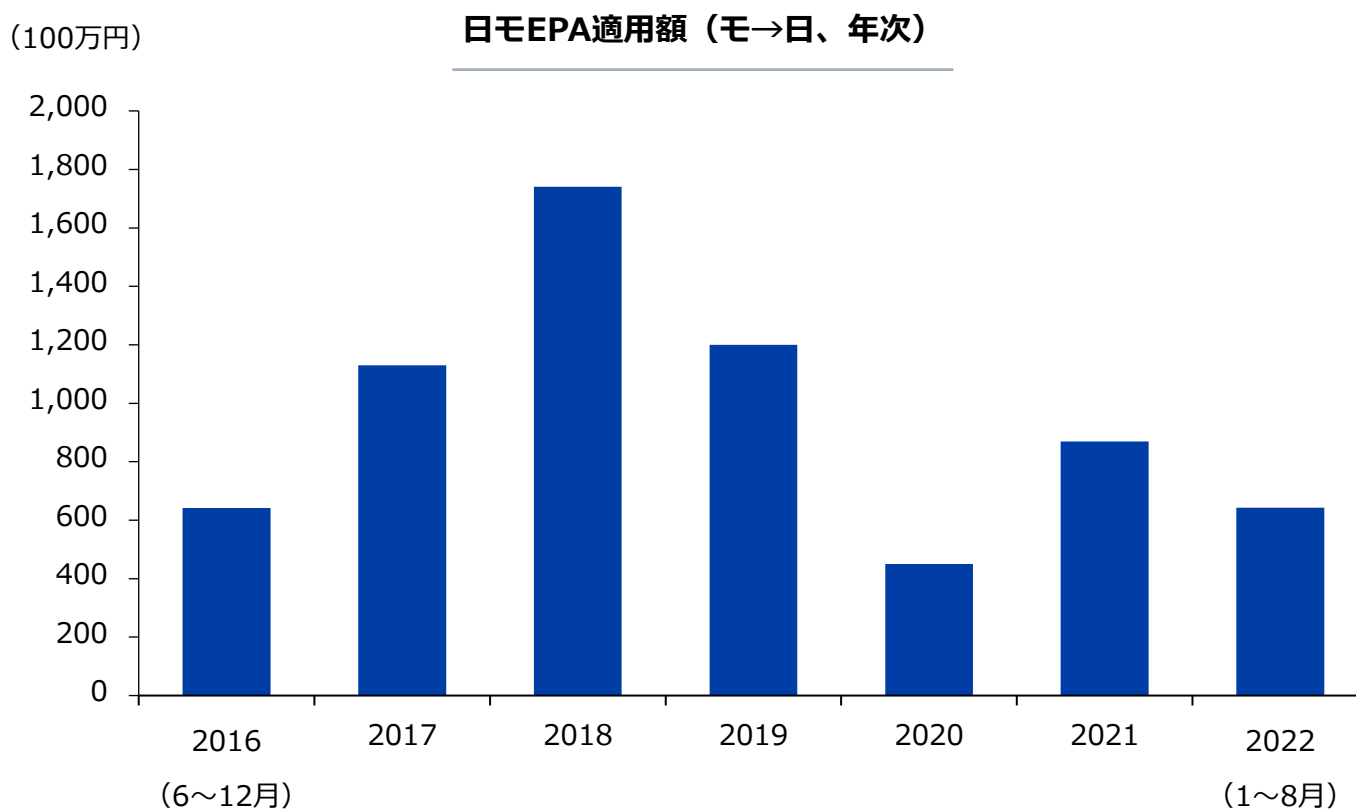
日本の対モンゴル輸入



(出所) 財務省貿易統計 (日本)

6 | 日モEPAの実績①

- 2016年6月のEPA発効以降2018年まで、モンゴルから日本向け免税対象品目（注：銅精鉱・瀝青炭を除く）の輸出は増加していたが、2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大もあり、モンゴルから日本へのEPA適用輸出は大きく減少した。2021年はコロナ前の水準には及ばないものの回復し、2022年1～8月は前年同期比63.8%増だった。



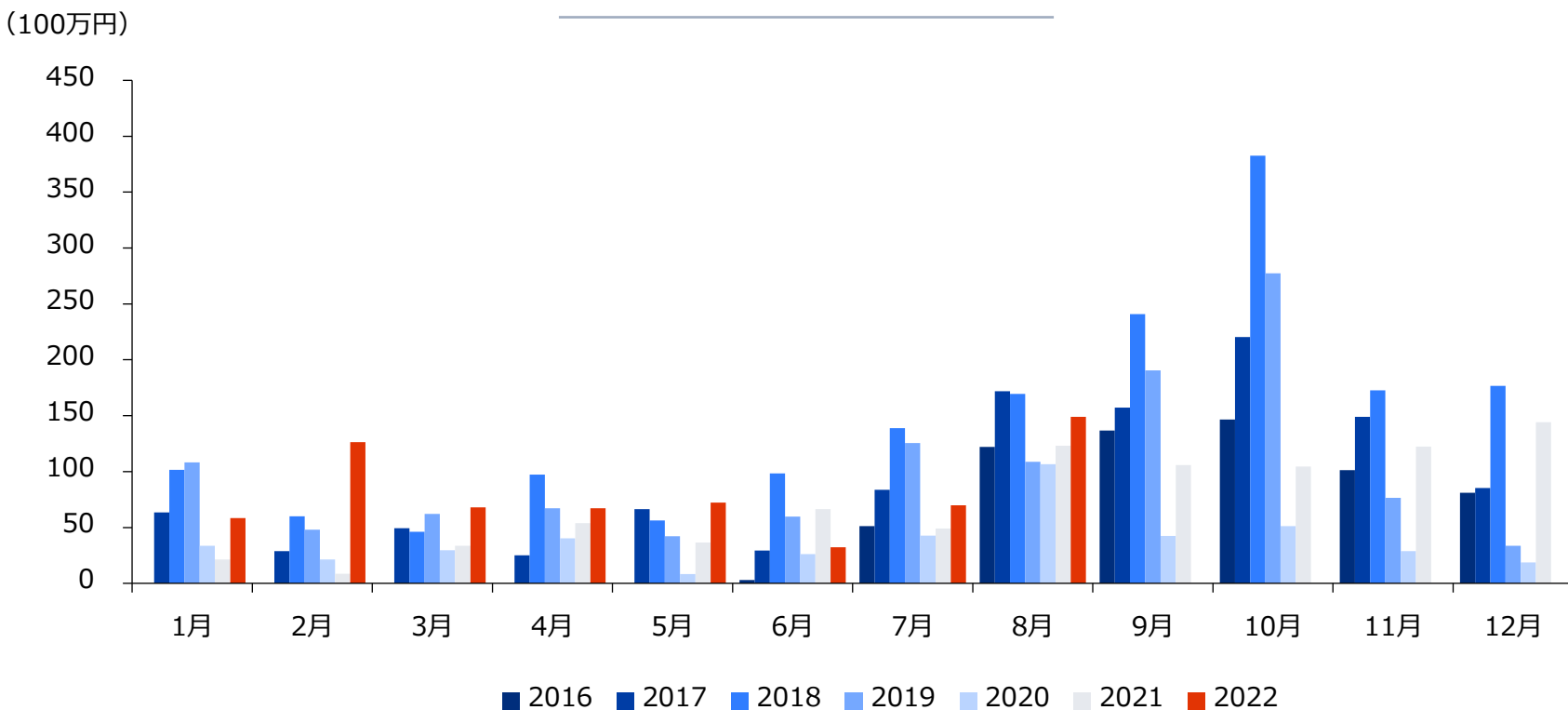
(注) 2016年は6～12月、2022年は1～8月の数値。

(出所) 財務省貿易統計（日本）

7 | 日モEPAの実績②

- 日モEPA適用輸出額を月別にみると、例年下半期に増加する傾向にあり、9月から10月にかけてピークとなっている。
- 2022年2月以降、単月ではコロナ前の水準を上回る月もあり、回復傾向がみられる。

日モEPA適用額（モ→日、月次）

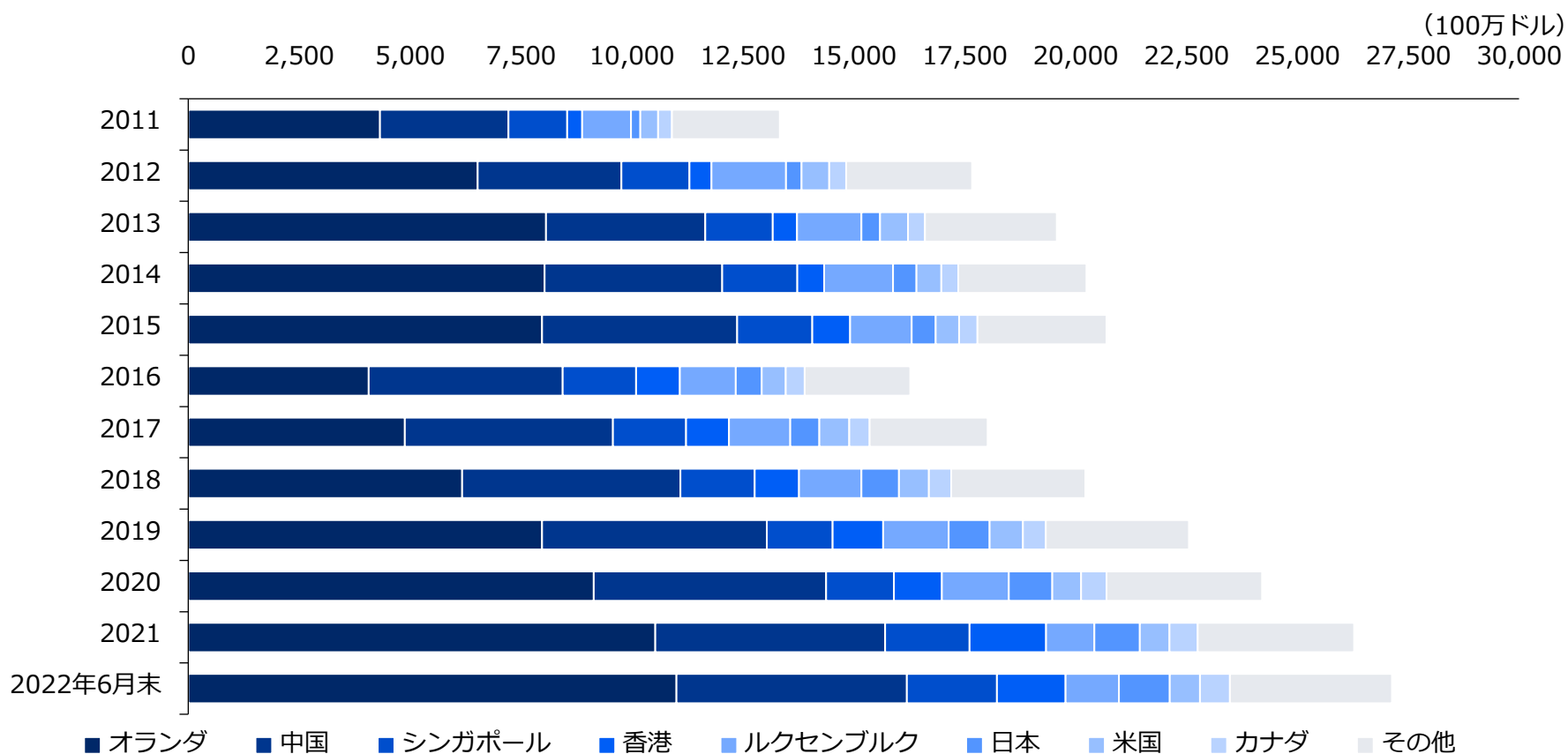


(注) 2016年は6～12月、2022年は1～8月の数値。

(出所) 財務省貿易統計（日本）

8 | 主要国・地域別対内直接投資額

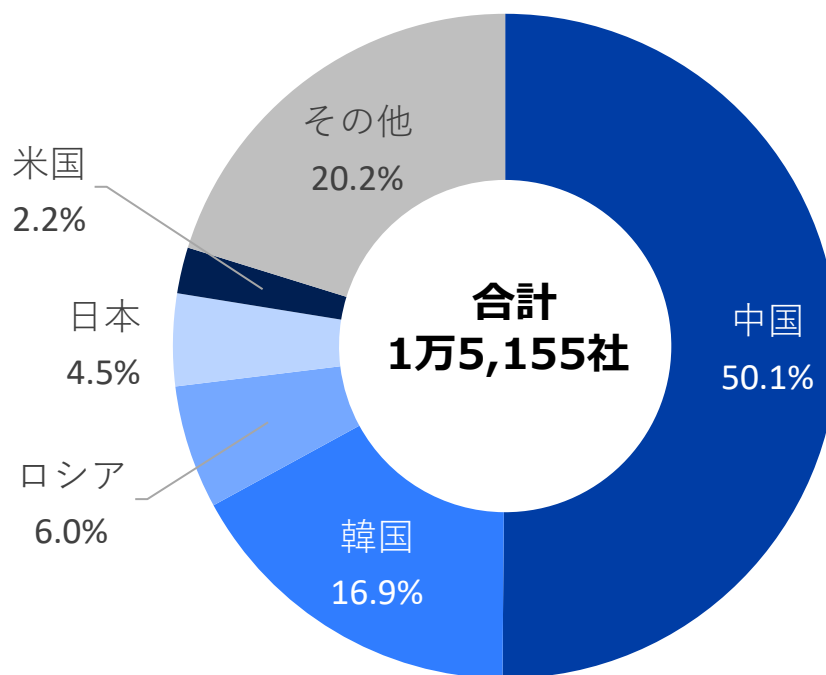
- 2022年6月末時点の対内直接投資額（累計）は、271億ドルとなった。主要国・地域別ではオランダ、中国、シンガポール、香港、ルクセンブルクの5カ国・地域からの直接投資が210億ドルで全体の77.3%を占めた。日本からの直接投資額は11億5,010万ドルとなっている。



9 | 主要国・地域別投資企業数

- 2022年6月時点の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万5,155社。このうち、中国が7,597社で、全体の約5割を占めて最大となっている。次いで韓国（2,564社）、ロシア（911社）、日本（680社）、米国（340社）等の順となっている。

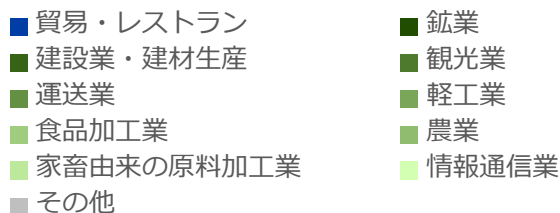
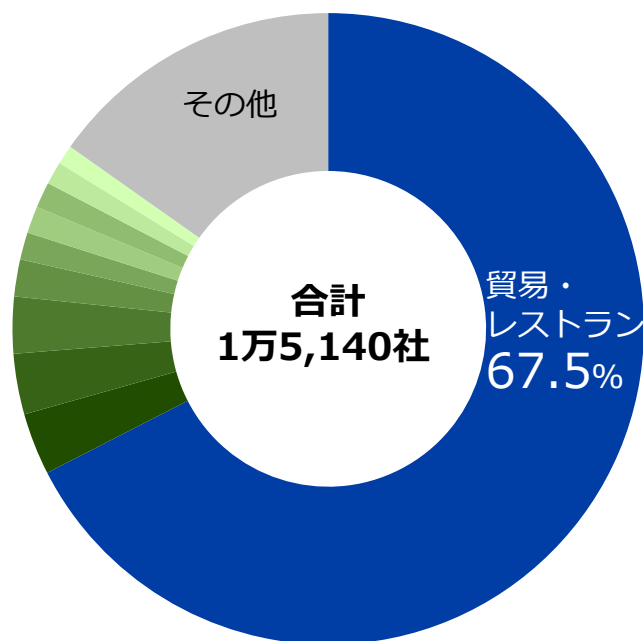
主要国・地域別の直接投資企業数



(注) 2022年6月現在。
(出所) 経済開発省（モンゴル）

10 | 主要業種別投資企業数

- 経済開発省によると、2022年6月現在、主要業種別の直接投資企業数は合計1万5,140社。そのうち、**貿易・レストランが1万214社で全体の7割**を占める。



主要業種別の直接投資企業数

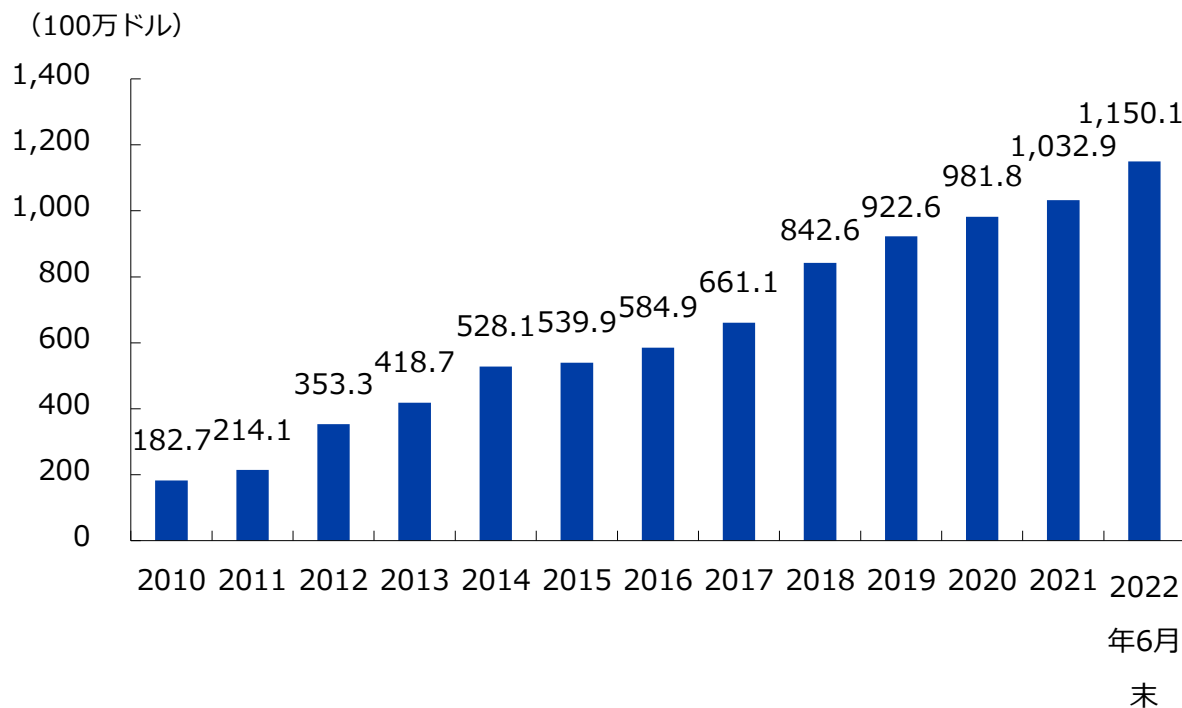
(社)

業種	投資企業数
貿易・レストラン	10,214
鉱業	480
建設業・建材生産	470
観光業	439
運送業	287
軽工業	211
食品加工業	209
農業	200
家畜由来の原料加工業	177
情報通信業	149
その他	2,304
合計	15,140

(注) 2022年6月現在。 (出所) 経済開発省 (モンゴル)

11 | 日本からの直接投資①

- 2022年6月末における日本からの直接投資額（累計）は、11億5,010万ドルとなった。
- 日本からの主要投資分野は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどとなっている。



モンゴル日本商工会会員企業名 (一部抜粋、順不同)

大日本土木	松坂屋建材
伊藤忠商事	日本工営
鴻池組	シスメックス
丸紅	TDB Leasing
住友商事	MUFG
UniGas	加藤運輸
三井物産	Apollo Building Service
MobiCom	Mongolia
フロンティア証券	大正法律事務所
賛光精機	モンゴリア東横イン
三菱商事	TOYOTA SALES
Azuma Shipping	MONGOLIA
Aizawa Mongolia	Japan Unoactive Mongol
HIS Mongolia	エイト森
岩田地崎建設	電通データアーティストモンゴル
原口総合法律事務所	ンゴル
メガテック	Cominix
ユニメディア	コージツ

(出所) モンゴル銀行

(注) 上記会員企業には駐在員事務所も含むため、必ずしもすべての企業がモンゴルへの投資を実施しているわけではない。
(出所) モンゴル日本商工会

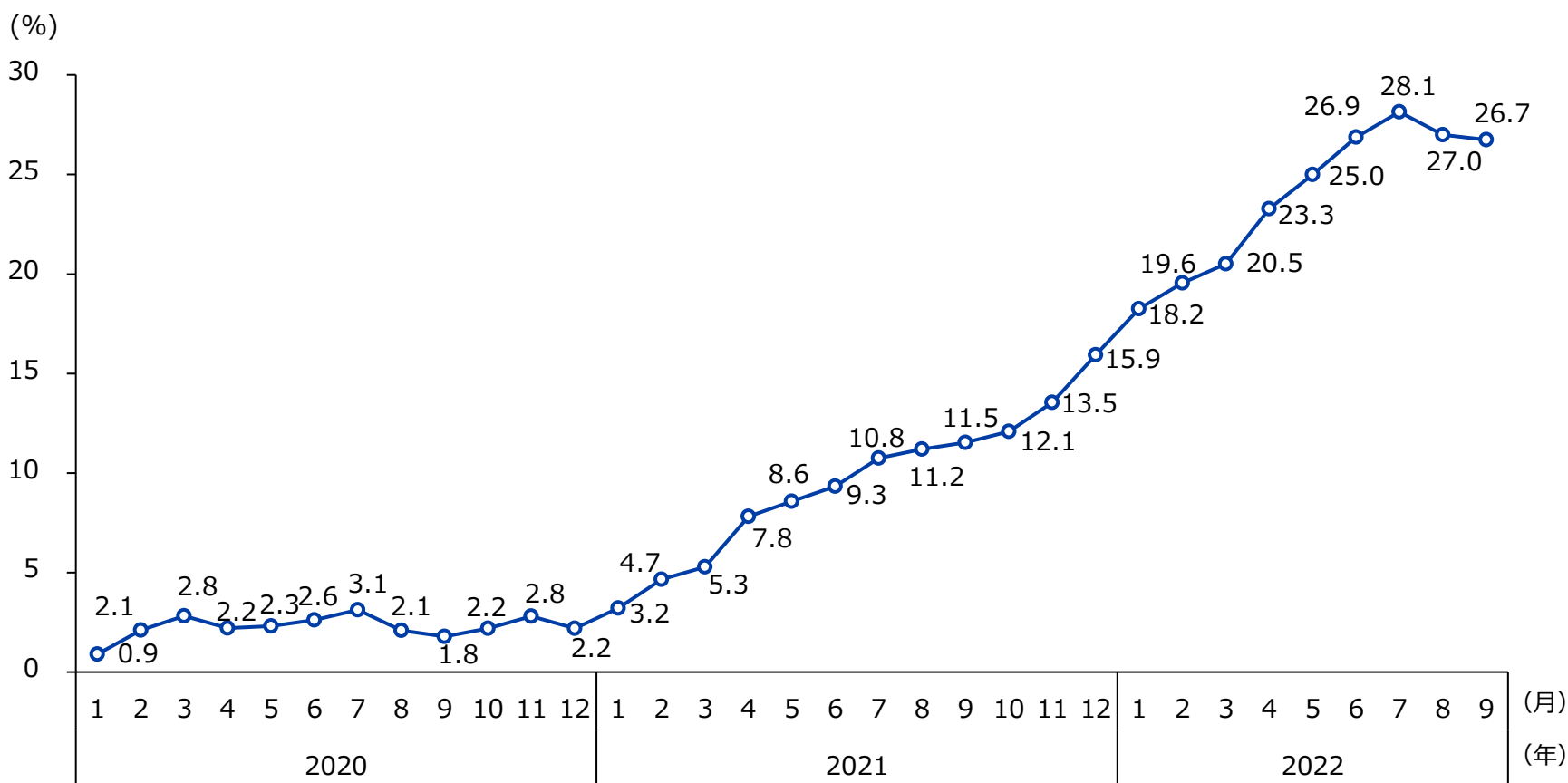
12 | 日本からの直接投資② 最近の日本企業の進出事例

業種	企業名	事業内容
IT、AI	データアーティスト	AI
	Ginco	仮想通貨マイニング
教育・人材育成	ウーノ・アクティブ	公務員研修、介護士研修
	キャストリア	モバイルラーニング
再生可能エネルギー	シャープ&重光商事	ダルハン太陽光発電所10MW ザミンウッド太陽光発電所16.5MW
	ファームドウ	モンナラン太陽光発電所12.7MW 農業、CO2クレジット取引
	SBエナジー	ツェツィー風力発電所50MW
ホテル	東横イン	ビジネスホテル
外食	吉野家ホールディングス	牛丼チェーン
物流	摂津倉庫	倉庫業
	日本リユースシステム	リサイクル

(出所) プレスリリースなどを基にジェトロ作成

1 | 物価（インフレ率）

- 2022年9月のインフレ率（全国）は前年同月比13.8ポイント上昇した。2019年末を100とする指数では26.7ポイント上昇となった。上昇の主な要因は食品・飲料（前年同月比17.1%）、アルコール飲料・タバコ（同7.9%）、衣類および履物（同17.7%）の価格上昇である。

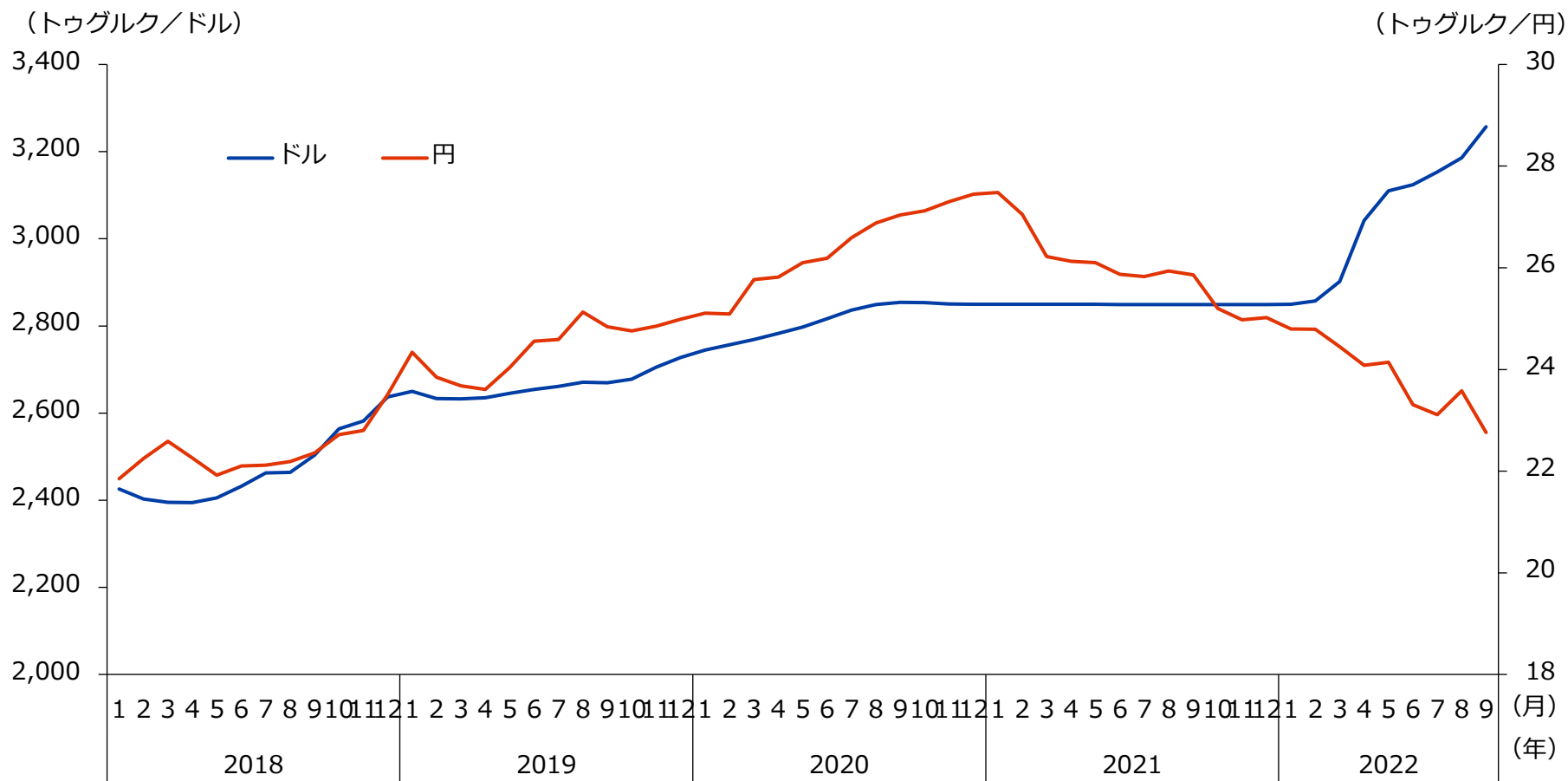


(注) 2019年末を100とする指数。

(出所) 国家統計局

2 | 対ドル・対円の為替レート

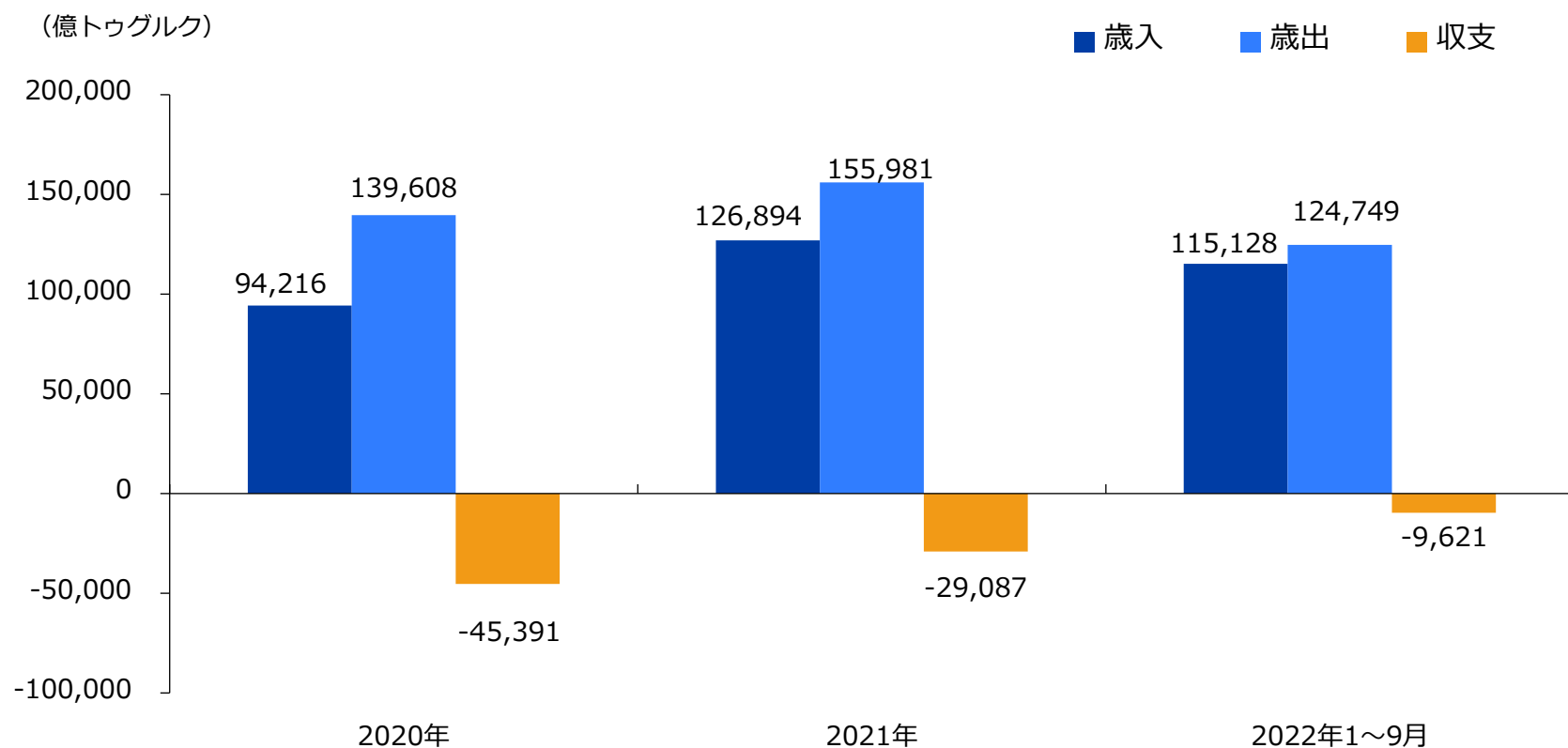
- 2022年9月は前月比で対ドルはトゥグルク安、対円ではトゥグルク高となり、1ドル=3,257トゥグルク、1円=22.8トゥグルクだった。



(出所) モンゴル銀行

1 | 歳入・歳出の推移

- 2022年1～9月における政府の歳入は11兆5,128億トウグルク、歳出は12兆4,749億トウグルクとなった。財政収支は、9,621億トウグルクの赤字となった。

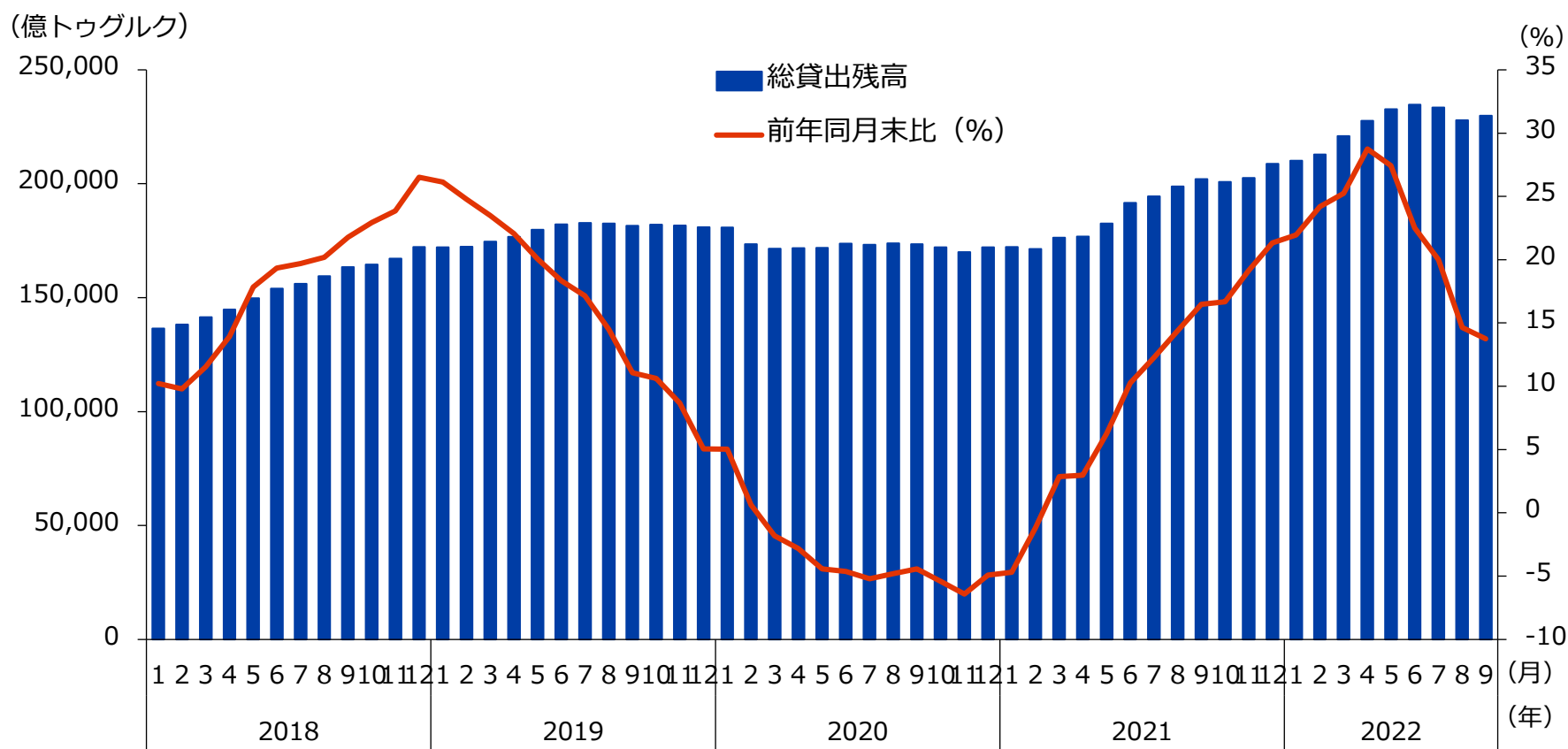


(注) 2022年は速報値。

(出所) 国家統計局

2 | 貸出残高

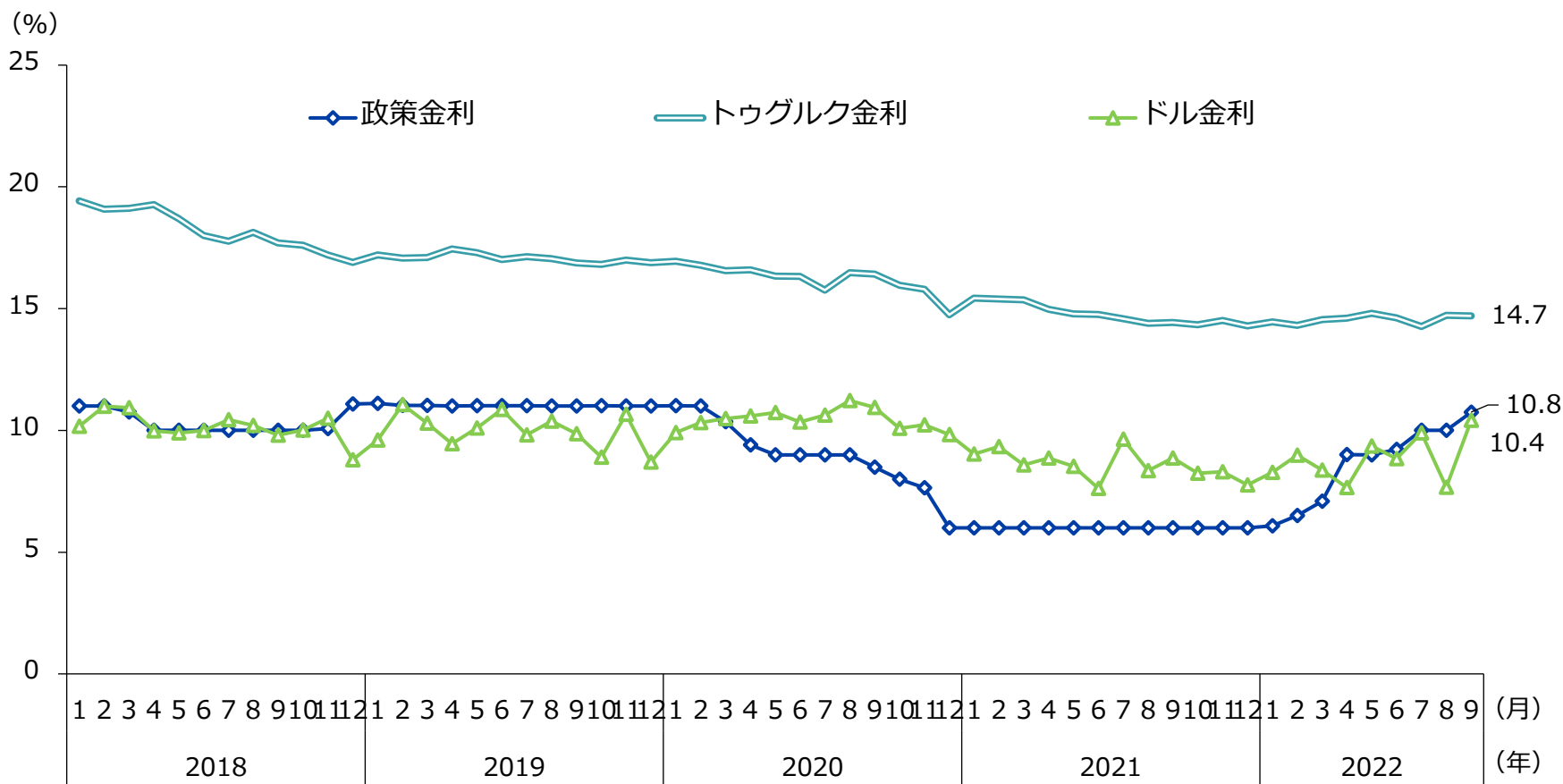
- 2022年9月末時点の総貸出残高は、前年同月末比13.8%増の22兆9,847億トゥグルクだった。



(出所) モンゴル銀行

3 | 貸出金利

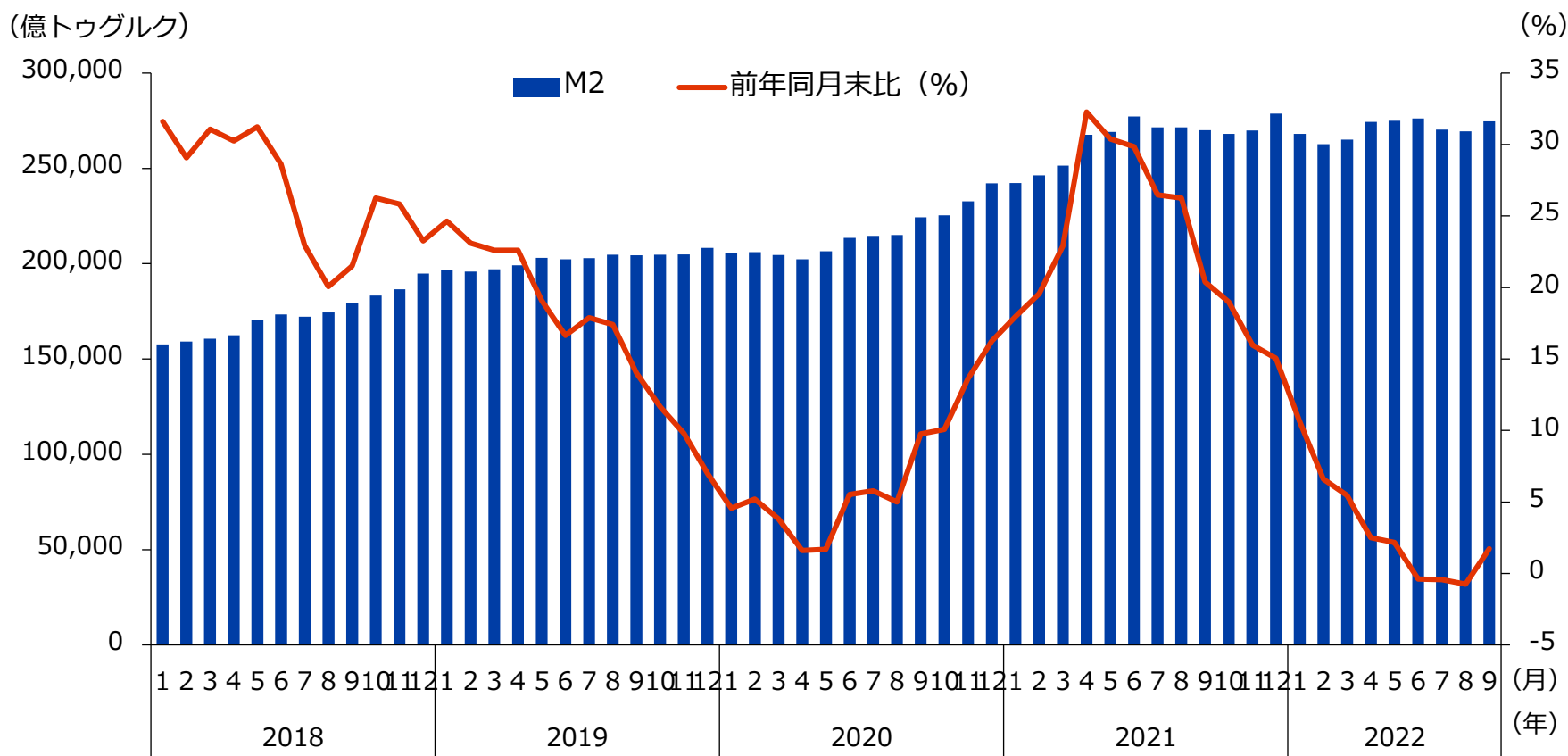
- 2022年9月の政策金利は、前年同月比4.8ポイント上昇の年利10.8%だった。
- 新規貸出金利はトゥグルクが同0.3ポイント上昇の14.7%、ドルが同1.6ポイント上昇の10.4%だった。



(出所) モンゴル銀行

4 | M2の推移

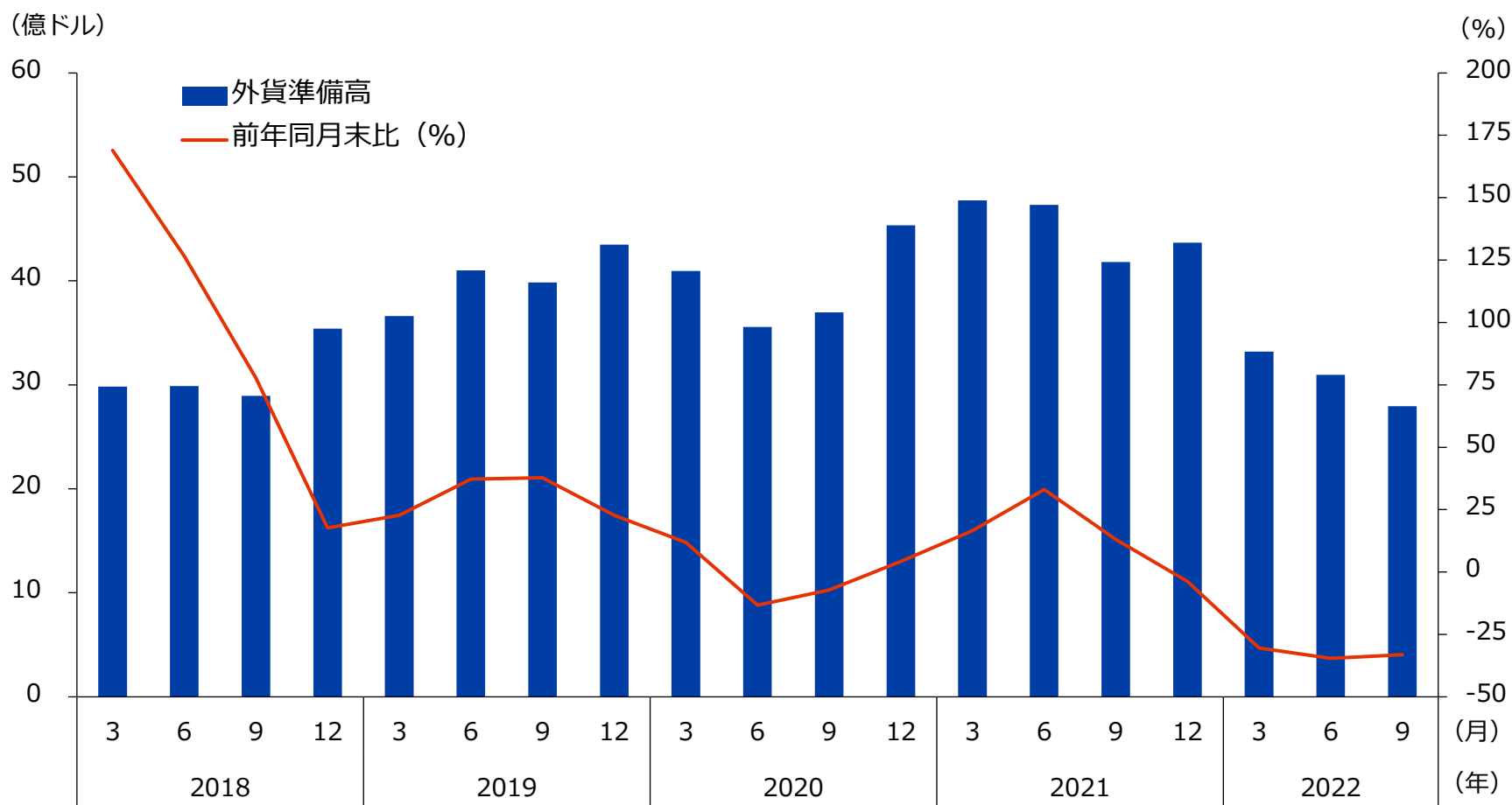
- 2022年9月末のマネーサプライ（M2）は、前年同月末比1.7%増の27兆4,631億トゥグルクだった。



(出所) モンゴル銀行

5 | 外貨準備高

- 2022年9月末時点の外貨準備高（グロス）は、前年同月末比33.2%減の27億9,460万ドルとなった。



(出所) モンゴル銀行

レポートをご覧いただいた後、アンケートにご協力ください。

(所要時間：約1分)

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20220044>



本レポートに関する問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部中国北アジア課



03-3582-5181



ORG@jetro.go.jp



〒107-6006

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル6階

■ 免責条項

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載